

JCOG0701A3

JCOG0701「T1-2N0M0 声門癌に対する放射線治療の加速照射法と標準分割照射法の
ランダム化比較試験」の附随研究

T1-2N0M0 声門癌に対する放射線治療の加速照射法と標準分割照射 法の長期予後および遅発性放射線反応に関する研究計画書 ver. 1.1

A long-term follow-up of JCOG0701 – Accelerated fractionation vs. conventional fractionation
radiation therapy for glottic cancer of T1-2N0M0 Phase III study

グループ代表者: 西村 恭昌
近畿大学病院 放射線治療科

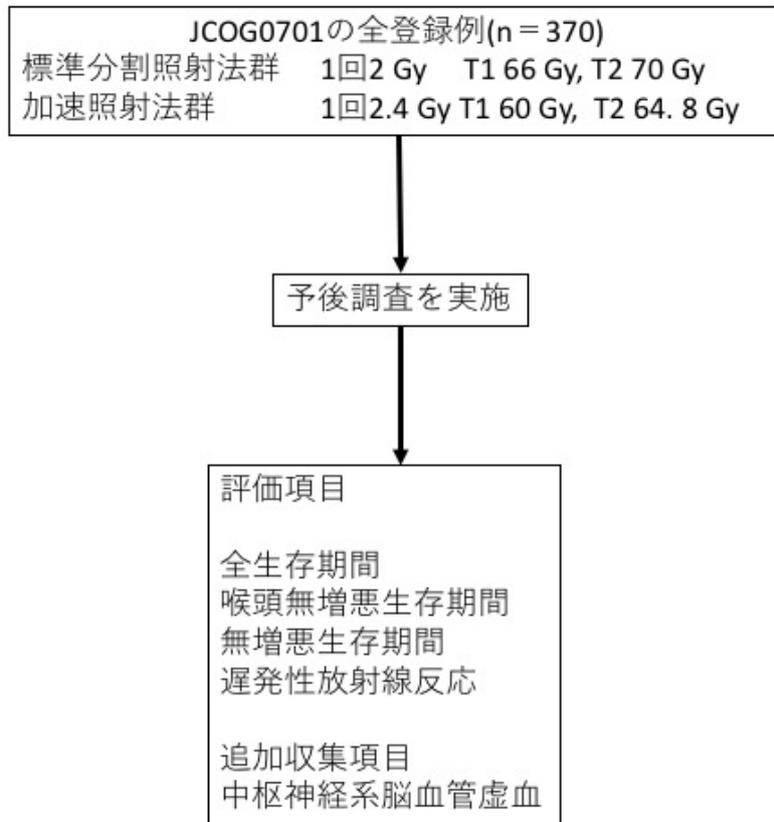
研究代表者: 加賀美 芳和
昭和大学病院 放射線治療科
〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

研究事務局: 古平 毅
愛知県がんセンター 放射線治療部
〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

鹿間 直人
順天堂大学院医学研究科 放射線治療学
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

0. 概要

0.1. シェーマ



0.2. 目的

JCOG0701「T1-2N0M0 声門癌に対する放射線治療の加速照射法と標準分割照射法のランダム化比較試験」の全登録患者に対して長期間フォローしたデータに基づいて長期治療成績および放射線治療の遅発性放射線反応（脳梗塞の発症割合を含む）がどの程度生じているかを確認する。また併せて遅発性放射線反応や予後を予測する因子を探索する。

0.3. 対象

JCOG0701 の全登録例 370 例。

0.4. 方法

全登録例 370 例を対象に予後調査を行う。その上で JCOG データセンターで保管している JCOG0701 の既存データと本附随研究の予後調査で得られたデータをもとに全生存期間、喉頭無増悪生存期間、無増悪生存期間、音声機能温存生存期間を算出する。また、遅発性放射線反応（新たに脳梗塞の発症項目を加える）に関しても追加調査を行う

0.5. 研究期間

研究期間: プロトコール承認後 2.5 年

0.6. 問い合わせ先

研究事務局: 古平 毅
愛知県がんセンター 放射線治療部